

● 草の根パートナー型

2016年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 事業名	ラオス木工職業教育校におけるトレーナーの技能向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	豊富な木材資源を有するラオスでは、木工家具製作が基幹産業になりうる。また2016年からの第8次国家社会経済開発計画では木工産業を最重要産業の一つと見なし、主要な輸出品目に成長させ、輸出することを目指している。しかしながら、現在、木材を効率的に利用して、多種多様な木工製品を製造するための技術が低く、精巧でデザインが美しい、商品価値が高い家具製作ができないことが課題となっている。またラオス国内にある木工コースを持つ職業教育校16校のトレーナーも十分な木工技術や指導力を持たないため、質の高い木工教育・実習ができていない現状である。 今後優秀な木工技術者やトレーナーを輩出するためには、職業教育の中心的存在である職業教育開発機関（VEDI）および各県の職業教育校の木工トレーナーへの人材育成が急務となっている。技術者の木工製作技術と指導力を向上させ、十分な木工実習・指導を実施できるようにすることが求められている。
4. プロジェクト目標	ラオスの職業教育校の木工分野における、指導レベルが向上する。
5. 対象地域	ラオス全国
6. 受益者層（人数規模）	直接的裨益者：主任トレーナー12名（職業教育開発機関（VEDI）木工トレーナー2名及び県職業教育校木工トレーナー10名） 間接的裨益者：県職業教育校木工トレーナー6名、木工コース学生160名
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 1. VEDI及びパイロット校10校の『主任木工トレーナー（以下、主任TR）』が『木工技能検定2級（日本規定準用）』相当の技術を習得している。 2. TRが木工職業教育校の学生に教授できる指導法を習得する。 3. テーマ別短期研修が実施できるようになる。 4. 主任TRが各自の学校で、習得した技術指導を実践できる。 5. VEDI及びパイロット校と民間企業とのネットワークが構築される。 <活動> 1-1. 木工職業教育校のパイロット校および主任TR候補者を選抜する。 1-2. TR向け木工技術研修を実施し、修了試験を行う。 2-1. 木工技術研修で『模擬授業』を実施し、評価を行う。 3-1. VEDI主任TRが短期テーマ別研修プランを策定し、実施する。 4-1. 主任TRが各自の学校で、習得した技術指導を実践する。 4-2. 当会TRとVEDI主任TRが、パイロット校主任TRのモニタリングを実施する。 5-1. スタディーツアー、インターンシップ先となる木工企業とのネットワークを構築する。 5-2. 学生の就職を支援するための、TR向け授業を実施する。
8. 実施期間	2018年1月16日～2021年12月31日（3年11ヶ月16日間）
9. 事業費概算額	59,494千円
10. 事業の実施体制	カウンターパート（C/P）：職業教育開発機関（VEDI） 当会 日本人：プロジェクトマネージャー1名、木工インストラクター1名、現地調整員1名、ネットワーク構築1名、国内調整員1名、短期派遣木工専門家3名、短期派遣タイ人専門家1名 ラオス人：プロジェクトオフィサー1名、木工トレーナー1名、プロジェクトオフィサー補助1名 C/P）コーディネーター1名、VEDI木工トレーナー2名
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	認定特定非営利活動法人国際協力NGO・IV-JAPAN
2. 対象国との関係、協力実績	IV-JAPANはラオス国で1994年以来、教育支援および縫製、理美容、調理の各職業訓練による人材育成を行っている。また木工職業訓練は2001年から2012年までは断続的に短期訓練コースを、2013年から2017年まではJICA草の根事業（3年間事業）で初級、中級、上級コース（10ヶ月）を合計6期実施した。